平成30年度　上期経営情報
ミニディスクロージャー誌

～次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2018－上期－

JA佐渡の経営内容

佐渡で生産が伸びている「シャインマスカット」

プロフィール

設　　立	平成５年８月１日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	２５．１億円
総 資 産	１，２１４億円
組合員数	１５，６６９人 （正組合員 7,903 人・准組合員 7,766 人）
職 員 数	４３７人
店 舗 数	本店、支店　９店

（平成３０年８月３１日現在）

佐渡農業協同組合

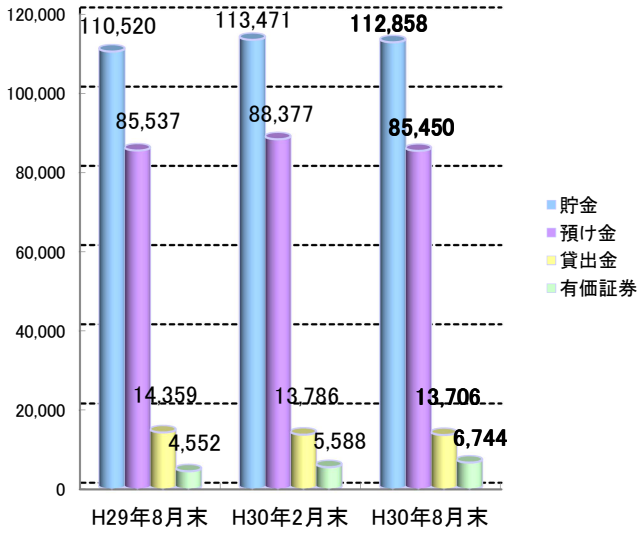
平成３０年８月末　ＪＡ佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

（単位：百万円）

	H29 年 8 月末	H30 年 2 月末	**H30 年 8 月末**
貯　　金	110,520	113,471	**112,858**
預　け　金	85,537	88,377	**85,450**
貸　出　金	14,359	13,786	**13,706**
有 価 証 券	4,552	5,588	**6,744**

○貯金残高は、貯金キャンペーンを中心に個人貯金の伸長に取り組んだ結果、個人貯金残高の伸びにより、計画比・前年比とも 100%を上回りました。
○預け金・有価証券は、低金利政策の影響等により、計画通りの利ざやを確保することができませんでした。
○貸出金は、公的資金 9 億円を含む大口資金約定返済額約 20 億円が大きく影響し、新規実行額では約 19 億円と健闘したものの、融資残高全体の伸長には至りませんでした。

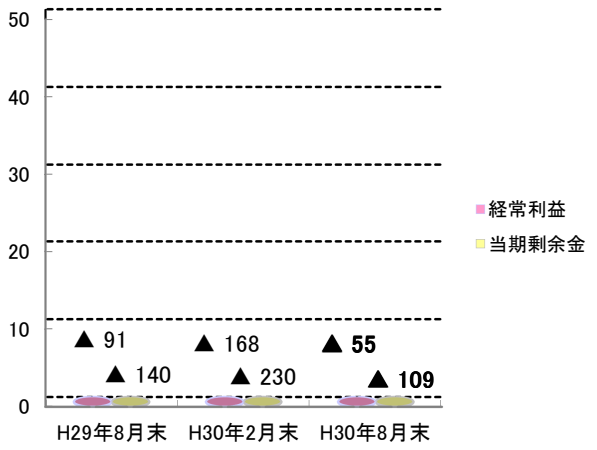


経営収支の状況

（単位：百万円）

	H29 年 8 月末	H30 年 2 月末	**H30 年 8 月末**
経　常　収　益	3,807	8,141	**4,259**
経　常　費　用	3,898	8,309	**4,315**
経　常　利　益	▲91	▲168	**▲55**
当 期 剰 余 金	▲140	▲230	**▲109**
未処分剰余金	―	▲171	**―**

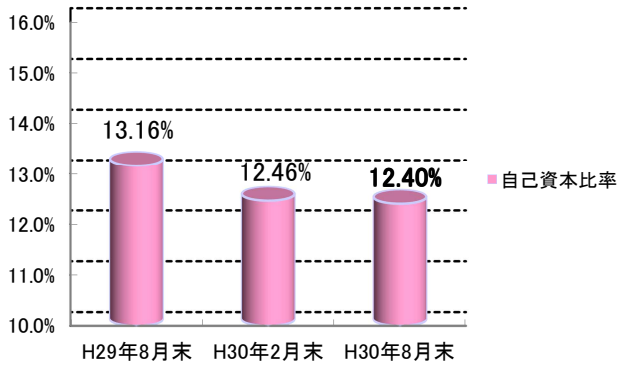
○平成 29 年度の事業総利益は前年を 361 百万円下回る 2,516 百万円となりました。事業管理費は前年を 65 百万円下回り、結果として 228 百万円の事業損失となりました。
最終損益は、230 百万円の当期損失金となりました。



単体自己資本比率（推計値）

（単位：百万円、%）

	H29 年 8 月末（推計値）	H30 年 2 月末	**H30 年 8 月末（推計値）**
自己資本額（A）	5,738	5,561	**5,468**
リスクアセット（B）	43,599	44,612	**44,071**
自己資本比率（A）÷（B）×100	13.16%程度	12.46%	**12.40%程度**



8 月末の単体自己資本比率（推計値）は平成 30 年 2 月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8 月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総資産等（リスク・アセット）を「分母」として算出しています。
※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目（リスクウェイト）を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

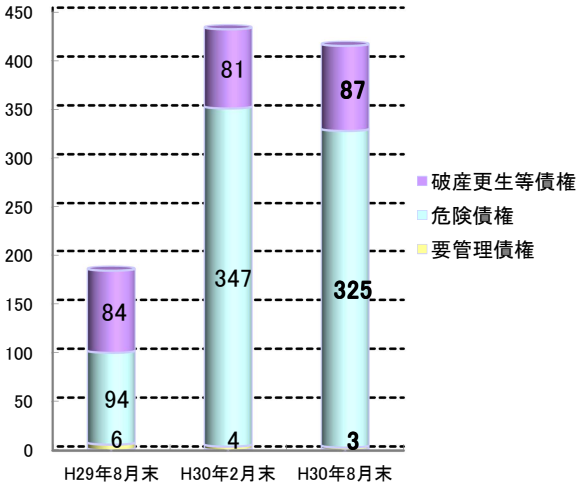
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権（法施行規則第４条の規定によるもの）

（単位：百万円）

	H29 年 8 月末	H30 年 2 月末	**H30 年 8 月末**
破産更生等債権①	84	81	**87**
危険債権②	94	347	**325**
要管理債権③	6	4	**3**
小計（①＋②＋③＝A）	185	432	**415**
正常債権④	14,407	13,565	**13,547**
債権額合計（A＋④＝B）	14,593	13,998	**13,962**
債権額に占める開示債権の割合（A÷B×100）	1.27%	3.08%	**2.97%**



開示債権と保全の状況（平成 30 年 8 月末）

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

（単位：百万円）

自己査定と保全の状況						金融再生法開示債権（経済債権を含む）		リスク管理債権	
債務者区分		残高 A	担保等保全額 B	貸倒引当金 C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先		18	57	56	100.0%	破産更生等債権	87	破綻先債権	7
実質破綻先		95						延滞債権	404
破綻懸念先		345	135	210	100.0%	危険債権	325		
要注意先	要管理先	3	－	0	0.3%	要管理債権	3	3カ月以上延滞債権	－
								貸出条件緩和債権	3
	その他要注意先	426				正常債権	13,547	合計	414
正常先		15,593							
合計		16,482				合計	13,962		

リスク管理債権について

1．「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第９６条第１項第３号イからホまでに掲げる事由または同項第４号に規定する事由が生じている貸出金です。

2．「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。

3．「３カ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを３カ月以上延滞している貸出金です。

4．「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権について

1．「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。

2．「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。

3．「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く３カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。

4．「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

（単位：百万円）

保有区分	平成29年8月末			平成30年8月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	－	－	－	－	－	－
満期保有目的	－	－	－	－	－	－
その他	4,427	4,599	172	6,488	6,604	116
合計	4,427	4,599	172	6,488	6,604	116

（注）1．有価証券の時価は期末時（2月末）における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当ＪＡの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、ＪＡは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという**「農業メインバンク」**として社会的責任を担っております。

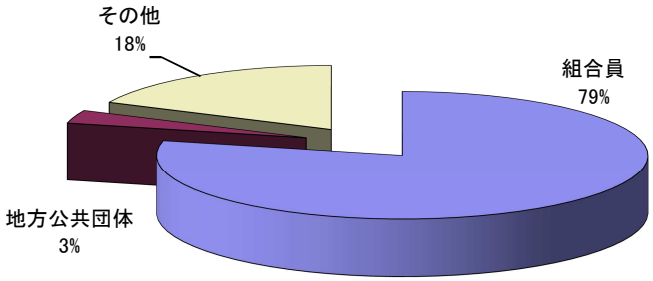
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における**「生活メインバンク」**として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産（貯金）をお預かりしております。

（単位：百万円）

種類	残高
組合員	88,817
地方公共団体	3,719
その他	20,321
合計	112,858

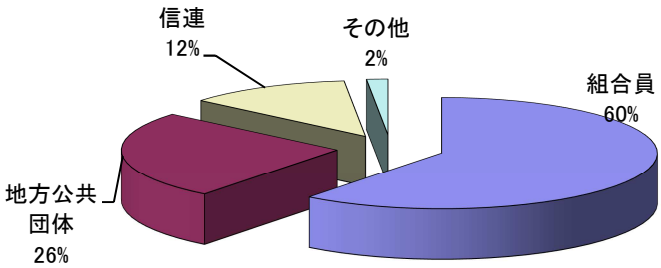


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

（単位：百万円）

種類	残高
組合員	8,293
地方公共団体	3,515
信連	1,680
その他	218
合計	13,706



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

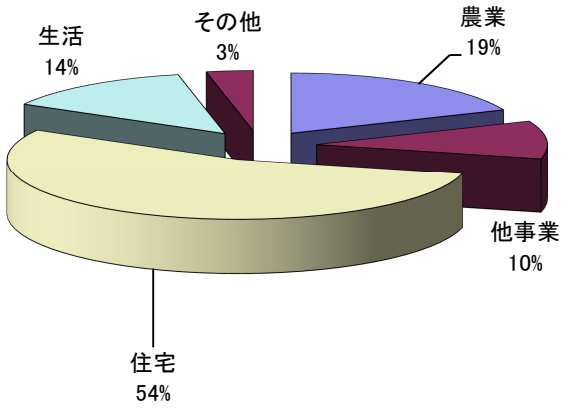
地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてＴＡＣ（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「ＪＡバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、ＪＡグループ新潟およびＪＡ佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

貸出金の資金使途別等の残高

〔貸出金〕　（単位：百万円）

種　　類	H29 年 8 月末	**H30 年 8 月末**
農業資金	1,508	**1,586**
その他事業資金	1,010	**866**
住宅関連資金	4,531	**4,624**
生活関連資金	1,099	**1,155**
その他	306	**278**
合　計	8,454	**8,511**

地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。



自己改革の取り組み

国の「農協改革」の動きに対して、ＪＡグループ独自に「自己改革」を設定し組織を挙げて取り組むことを決定し、当ＪＡも第 8 次中期 3 カ年計画（平成 28～30 年度）に独自の自己改革を織り込み、「自己改革工程表」を作成して実践と進捗管理に取り組みました。平成 30 年度はその最終年度であり、関連する主な取り組みを中心に次の通り報告します。

◆農業振興等に関する取り組み

佐渡米の最重要課題である１等米比率 90%以上を目指す「佐渡米未来プロジェクト 品質向上 90」に引き続き取り組みました。今年度は度重なる台風や収穫時期の降雨の影響を受けて、コシヒカリの１等米比率は目標の 90%を下回りましたが、農家の努力により県平均を上回る 77.2%（10 月 23 日現在）にとどまりました。高品質・良食味米（“おいしさ”と“みばえ”）生産は、佐渡米ブランドを確立し需要を掘り起こす上で欠かせない取り組みであり、平成 31 年産においても最重要課題の一つとなります。なお、㈶日本穀物検定協会の食味ランキングで、29 年産で 13 年連続 25 回目の最高ランク「特Ａ」の評価を得ております。

おけさ柿は、一部では台風の影響で塩害を被っており、１割程度の被害にあったものの全体的には平年並みの生育に期待しております。畜産振興については、大型和牛繁殖支援施設の 2 期工事が平成 30 年 7 月に完了し、12 月にかけて繁殖素牛 125 頭の導入を計画しております。

◆生産コスト低減等の取り組み

平成 31 年度に向け、コスト低減を目的とした県下統一肥料への切替をすすめるため、各種指導会や来年度の予約注文書での周知、誘導をすすめました。

また、佐渡市からの助成を活用しながら、引き続き土づくり資材 10%の価格助成をすすめるとともに、農薬部門で

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

のコスト低減策として、省力・大規格農薬の紹介・推進も併せて実施しました。

◆農業融資と地域貢献に関する取り組み

出向く融資活動として農業法人等への定期訪問を実施し、ＪＡグループと当ＪＡの利子補給を利用した「担い手支援資金」等の提案活動を行いました。「にいがた農業応援ファンド」における上期の申請は 26 件採択され、うちＪＡの取り扱いについては 24 件で約 22,500 千円の供給実績となり、併せて事業導入に伴う農業融資額についても約 4,300 千円の実績となりました。

今後も農業メインバンクとしての信用事業機能強化のため、ＴＡＣ、農機担当者、生産資材担当者等他部門と連携した取り組みにより総合力を発揮した提案を行います。また、農業メイン先を選定し、年間訪問計画を作成し、計画的な訪問活動に取り組みます。

これからも地域と共にあるＪＡを目指して

当ＪＡでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

◇Ａコープ店　：　食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に７店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所　：　ＪＡ直営直売所「新鮮空間　よらんか舎（や）」と「菜菜（せいせい）きて屋まの」、Ａコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール：　増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内２か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド　：　本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内３か所に設けております。

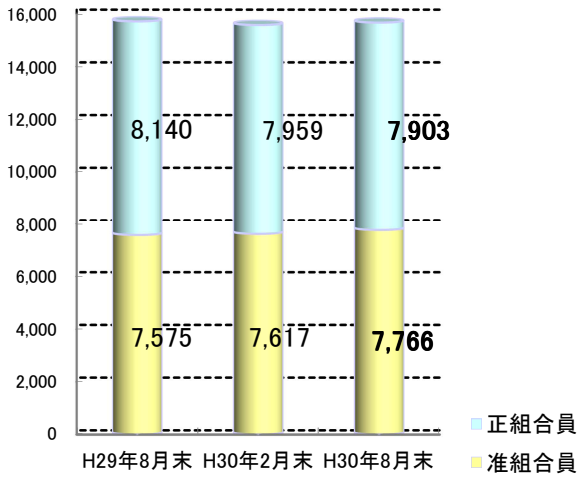
写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

★このようにＪＡ佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

組合員数の推移

（単位：組合員数）

	H29 年 8 月末	H30 年 2 月末	**H30 年 8 月末**
正　組　合　員	8,140	7,959	**7,903**
准　組　合　員	7,575	7,617	**7,766**
組　合　員　計	15,715	15,576	**15,669**

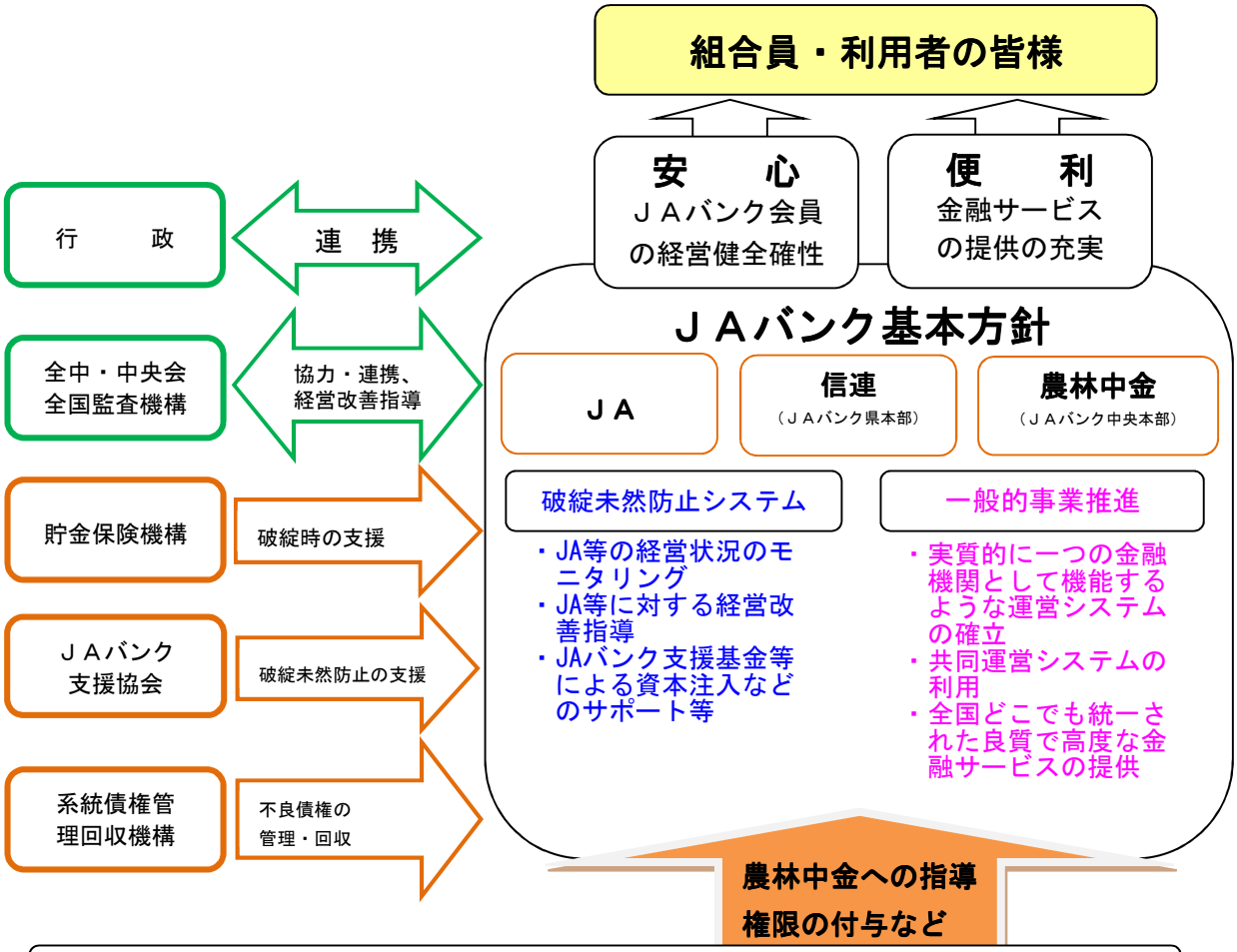


※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、ＪＡバンクが守っています。

ＪＡバンクシステム

ＪＡバンクは、ＪＡバンク会員（ＪＡ・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「ＪＡバンクシステム」といいます。
「ＪＡバンクシステム」は、ＪＡバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



ＪＡバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

●貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
●貯金業務を取り扱う全てのＪＡ・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

＋

破綻未然防止システム

●全国のＪＡバンクが協力して個々のＪＡを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
●「破綻未然防止システム」とは、ＪＡの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「ＪＡバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

佐渡農業協同組合

編集　佐渡農業協同組合　総務部
〒952-8502
新潟県佐渡市原黒300番地1
TEL　0259-27-6161
FAX　0259-27-6170
E-ﾒｰﾙ　kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.ja-sado-niigata.or.jp/

JA佐渡　検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。